

# 第1号議案：2023年度事業活動報告 (2023年4月～2024年3月)

## 1. 2023年度の総括

---

短期間での事務所移転が続くなど、理事・事務局が主に組織管理に関することに時間をとられた結果、事業計画にもとづいた活動が十分にできない1年となってしまった。理事・事務局間の情報共有の不足や、事業を進めるための人的体制が十分でなかったことも停滞の要因となった。

一方で、入管法改悪に関するワークショップ開催を通して、今後の活動に繋がる新しい参加者とのつながりも生まれた。年度末には新しい事務局スタッフも入り、次年度の活動に具体的な展望が出てきた。

## 2. 2023年度の活動報告

---

### 2-1. 出版事業

情報発信については電子媒体による発行を計画していたが、コンテンツの編集方針が明確にならず、十分な企画を立てることができなかった。

#### (1) オンライン出版について

出版事業と情報発信を担うスタッフを迎え4月、8月に編集会議を行い、note (<https://note.com/ajwrc>)を試験的に開設。8月に白崎朝子さんの記事『ケアの現場から』vol.1を掲載した。しかし、それ以外の内容や編集方針、公開方法

(無課金か課金か等)など、具体的に詰めることができず、計画通りの発行ができなかった。

#### (2) 既刊号の販売について

売上：270,047円

(前年度：524,363円)

予算比：20.3%、前年比：51.5%

※STORES(オンライン販売サイト)、ツバメ出版、個人連絡による販売の合計なお、ツバメ出版への委託販売について、掛け率を60%から65%へ変更した。

#### (3) その他

『資料館・博物館で女性たちの歴史に出会うブックレット』(2016年発行)の一部を早稲田アカデミー発行のテキスト転載依頼について原著者の了解を得て了承した。

### 2-2. 教育事業

#### (1) 『トランスジェンダー問題』読書会

4/23、5/27、7/1にzoom開催

#### (2) 少子化問題ワークショップ

8/22に白川真澄さんと少子化対策勉強会をzoom開催

### 2-3. 政策提言事業

他団体と連帯し共同声明を発表した。特に入管法改悪に関するアクションではセンター独自のワークショップを開催し、

## 第1号議案：2023年度事業活動報告 (2023年4月～2024年3月)

若手活動家とのつながりを作ることができた。SNSで情報発信やワークショップの告知を行うことで、新しい層が活動に参加することにつながった。

### (1) 入管法改悪に対するアクション

(4/28) 「入管法改悪反対集会」デモ参加

(5/9) 入管法改悪案可決への抗議・シットイン参加

(5/21) 「入管法改悪反対渋谷アクション」に参加、本山がスピーチ

(2/11) 「フェミニズム×クィア視点から入管体制を考えるワークショップ」オンラインと東京ウィメンズプラザでのハイブリッド開催

48名の事前申し込みがあり、参加者数は現地20名（ボランティアスタッフ2名含む）+オンライン19名（ボランティアスタッフ1名含む）

(2) アジア太平洋女性・法・開発協会（Asia Pacific Forum on Women, Law and Development [APWLD]）への団体加盟および東アジア地域ワークショップへの参加

アジア太平洋地域の他のフェミニスト団体と共通する課題について情報共有し協働していくため、地域ネットワーク組織である APWLD に 4 月に団体加盟を申

請・承認された。

また 8/28～30 日に韓国ソウルにて開催された東アジア地域会議に理事の本山が参加し、課題の共有や今後の APWLD の活動方針について議論した。

10/15 に大谷美紀子さんと共に報告会を開催した。

### (3) 独自声明の発出

・LGBT 差別増進法に抗議する集会への賛同メッセージ（2023/6/16）

・「パレスチナ市民に対する攻撃の即時停止と、対話による紛争解決と占領終結を求める声明」および Women In Black Tokyo サイレントスタンディングのよびかけ（10/22、10/29、11/3）

### (4) SNS での発信

・X フォロワー数：7806 人

・Instagram フォロワー数：203 人

・facebook フォロワー数：3328 人

※すべて(2024/05/01 時点)

特に Women In Black、ウィメンズマーチの写真について、X や Instagram での反響があった。賛同・アンチどちらからも反応があり、SNS 上での発信を続けていく意味があった。

## 第1号議案：2023年度事業活動報告

(2023年4月～2024年3月)

### (5) 団体賛同・協力など

(4/25) 非行歴や前科を有する人を支援する者等による『入管法改定に反対する声明書』に賛同

(4/27) G7 環境大臣会合共同声明・改ざん「日本語訳」撤回申し入れに団体賛同

(5/10) G7 環境大臣会合共同声明・改ざん「日本語訳」撤回申し入れ  
団体賛同

(5/15) 「LGBTQ+緊急国会」団体賛同

(5/26) 公開書簡「ミャンマー国軍の残虐な犯罪を止めるために国連安保理で日本の指導力が緊急に必要」  
※英文が正本 団体賛同

(6/12) LGBT 差別増進法に抗議する緊急大集会 団体賛同

(6/19) 女性に対する暴力国連特別報告者のトランス差別に対する国際書簡※英文が正本 団体賛同

(8/22) 非正規滞在者に対する人道的な在留特別許可を求める声明  
団体賛同

(9/30) 要請書「改めて日本政府の対ミャンマーODAの停止を求めます」  
団体賛同

(10/17) 日本は「死の商人」になるのか 殺傷武器の輸出に反対する共同声明  
団体賛同

(10/22) 要請書「現在ガザ地区で起きているジェノサイド（大量虐殺）を止める報道を！」賛同

(10/30) 優生保護法 11.1 集会 団体賛同

(11/22)  
「河野談話 30 年」（「慰安婦」問題解決オール連帯ネットワーク）団体賛同

(1/26) 訪問介護報酬減額抗議声明へ団体賛同

(2/18) ラファに手を出すな！全国連帯デモ（Palestinians of Japan、〈パレスチナ〉を生きる人々を想う学生若者有志の会、BDS Japan Bulletin）団体賛同

(3/8) ウィメンズマーチ東京 2024 に団体賛同